

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年07月31日

計画の名称	半田市における下水道施設の防災・安全対策の推進（防災・安全）（重点計画）														
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	半田市														
計画の目標	排水ポンプ施設の長寿命化対策・地震対策及び市街地の浸水対策を実施し、住民が安心できる暮らしを実現する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,272	A	2,272	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R3末	R5末
1	北浜田排水ポンプ場におけるストックマネジメントに基づく改築の実施によりライフサイクルコストを23百万円／年縮減する。			
	北浜田排水ポンプ場におけるライフサイクルコスト縮減率	0%	0%	100%
	北浜田排水ポンプ場における改築の実施によるライフサイクルコスト縮減額／北浜田排水ポンプ場における5箇年のライフサイクルコスト縮減額			
2	北浜田排水ポンプ場における地震時にも下水道としての機能が確保できている割合を0%(H31)から100%(R5)に増加させる。			
	北浜田排水ポンプ場における機能確保率	0%	40%	100%
	北浜田排水ポンプ場における機能確保のための対策済箇所数／北浜田排水ポンプ場における機能確保が必要な箇所数			
3	若宮排水ポンプ場におけるストックマネジメントに基づく改築の実施によりライフサイクルコストを3百万円／年縮減する。			
	若宮排水ポンプ場におけるライフサイクルコスト縮減率	0%	0%	100%
	若宮排水ポンプ場における改築の実施によるライフサイクルコスト縮減額／若宮排水ポンプ場における5箇年のライフサイクルコスト縮減額			
4	若宮排水ポンプ場における地震時にも下水道としての機能が確保できている割合を0%(H31)から100%(R5)に増加させる。			
	若宮排水ポンプ場における機能確保率	0%	0%	100%
	若宮排水ポンプ場における機能確保のための対策済箇所数／若宮排水ポンプ場における機能確保が必要な箇所数			
5	下水道による都市浸水対策の達成率を83%(H31)から84%(R5)に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策の達成率	83%	84%	84%
	概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha)／都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha)			
6	排水ポンプ場における氾濫等の災害時においても下水道としての耐水機能確保のための計画策定率を0%(R2)から100%(R3)に増加させる。			
	排水ポンプ場における耐水機能確保のための計画策定率	0%	100%	100%
	耐水機能確保のための計画策定済箇所数／耐水機能確保のための計画策定が必要な箇所数			

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R3末	R5末
7	雨水管における地震時の機能確保のための診断・調査の割合を0%(R2)から84%(R5)に増加させる。			
	雨水管における機能確保のための診断・調査率	0%	53%	84%
	機能確保のための診断・調査済延長 / 機能確保のための診断・調査が必要な延長			
8	雨水排水区における排水能力調査の割合を0%(R4)から10%(R5)に増加させる。			
	雨水排水区における排水能力調査率	0%	0%	10%
	排水能力調査済箇所数 / 排水能力調査が必要な排水区の箇所数			
9	雨水管における老朽化対策の割合を0%(R4)から58%(R5)に増加させる。			
	雨水管における老朽化対策率	0%	0%	58%
	老朽化対策済延長 / 老朽化対策が必要な延長			
10	排水ポンプ場における氾濫等の災害時においても下水道としての耐水機能が確保できる割合を63%(R4)から75%(R5)に増加させる。			
	排水ポンプ場における耐水機能確保率	0%	0%	75%
	耐水機能確保のための対策済排水ポンプ場数 / 排水ポンプ場数			
11	雨水管における地震時にも下水道としての機能が確保できている割合を0%(R4)から100%(R5)に増加させる。			
	雨水管における機能確保率	0%	0%	100%
	機能確保済延長 / 機能確保が必要な延長			
12	排水ポンプ場におけるストックマネジメントに基づく事後保全設備の機能が確保できている割合を0%(R5)から100%(R5)に増加させる。			
	排水ポンプ場における機能確保率	0%	0%	100%
	機能確保のための対策済事後保全設備数 / 機能確保が必要な事後保全設備数			
13	排水ポンプ場における地震時の機能確保のための診断・調査の割合を38%(R5)から63%(R5)に増加させる。			
	排水ポンプ場における機能確保のための診断・調査率	38%	38%	63%
	機能確保のための診断・調査済箇所数 / 機能確保のための診断・調査が必要な箇所数			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		H31 R02 R03 R04 R05																	
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	半田市	直接	半田市	ポンプ 場	改築	北浜田排水ポンプ場	改築・更新（設計・工事）	半田市	■	■	■	■	■	1,038		策定済
		半田市下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-002	下水道	一般	半田市	直接	半田市	ポンプ 場	改築	北浜田排水ポンプ場	耐震化対策（設計・工事）	半田市	■	■	■	■	■	253		-
	A07-003	下水道	一般	半田市	直接	半田市	ポンプ 場	改築	若宮排水ポンプ場	改築・更新（設計・工事）	半田市	■	■	■	■	■	119		策定済
		半田市下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-004	下水道	一般	半田市	直接	半田市	ポンプ 場	改築	若宮排水ポンプ場	耐震化対策（設計・工事）	半田市	■	■	■	■	■	102		-
	A07-005	下水道	一般	半田市	直接	半田市	管渠（ 雨水）	新設	雨水管整備（半田東排水 区等）	雨水管 L=939m	半田市	■	■	■	■	■	353		-
	A07-006	下水道	一般	半田市	直接	半田市	ポンプ 場	改築	耐水化（北浜田排水区等 ）	計画策定・設計・工事	半田市		■	■	■	■	73		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	半田市	直接	半田市	管渠（ 雨水）	改築	雨水管耐震化（中央排水 区等）	診断・調査・設計・工事	半田市		■	■	■	■	64		-
	A07-008	下水道	一般	半田市	直接	半田市	管渠（ 雨水）	改築	排水能力調査（港排水区 等）	調査・設計・工事	半田市				■	■	31		-
	A07-009	下水道	一般	半田市	直接	半田市	管渠（ 雨水）	改築	雨水管老朽化対策（亀崎 排水区等）	改築・更新（設計・工事）	半田市				■	■	76		策定済
		半田市下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-010	下水道	一般	半田市	直接	半田市	ポンプ 場	改築	排水ポンプ場改築・更新 （東成岩排水区等）	実施計画・工事	半田市					■	80		策定済
		半田市下水道ストックマネジメント計画																	
	A07-011	下水道	一般	半田市	直接	半田市	ポンプ 場	改築	排水ポンプ場耐震化（有 楽排水区等）	調査	半田市					■	83		-
										小計						2,272			
										合計						2,272			

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本事業を主管する上下水道工務課で数値目標の達成状況や事業効果を検証するとともに、その要因を分析した。	令和 8 年 7 月
	公表の方法 市ホームページで公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	排水ポンプ施設の長寿命化対策・地震対策及び市街地の浸水対策を実施することにより、住民が安心できる環境を提供できた。 ・北浜田及び若宮排水ポンプ場について、機器設備の改築更新を実施しライフサイクルコストの縮減を図った。 ・北浜田及び若宮排水ポンプ場について、耐震工事を実施し地震時においても下水道としての機能確保を図った。 ・雨水管路施設について、耐震診断・調査を実施し地震時における機能確保を図った。 ・東成岩排水ポンプ場について、耐水化工事を実施し、氾濫等の災害時においても下水道としての機能確保を図った。 ・浸水被害発生か所について、雨水管整備を実施し浸水リスクの軽減を図った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

今後も計画的に排水ポンプ施設の長寿命化対策・地震対策及び市街地の浸水対策を図ることで、住民が安心できる環境を提供していく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
4	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
5	最 終 目標値	84%	
	最 終 実績値	84%	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
7			
	最 終 目標値	84%	
	最 終 実績値	84%	
8			
	最 終 目標値	10%	
	最 終 実績値	10%	
9			
	最 終 目標値	58%	
	最 終 実績値	58%	
10			
	最 終 目標値	75%	
	最 終 実績値	75%	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
11			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
12			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
13			
	最 終 目標値	63%	
	最 終 実績値	63%	